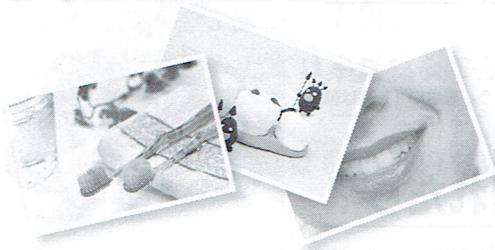


女性歯科医のデンタルトーク



たかしま みゆう
高島 美祐氏



歯科医師／神谷町デンタルクリニック院長。奥羽大学歯学部卒業。東京、神奈川、大阪の歯科医院で院長、副院長を歴任し、海外でのインプラントトレーニングにも多数参加。2014年開業。日本では珍しいマイクロスコープを使った精密歯科治療も行っている。超高齢化社会において、自分の歯をできるだけ長く残すための治療を実践しており、国内外からの来院がある。日経メディカル掲載や2015年OKWave Thanks賞受賞など、メディアでも広く取り上げられている。

健康とは財産です。健康なうちはその財産になかなか気がつきません。歯は一度状態が悪くなると、美味しく食べることが出来なくなったり、人前で笑えなくなったりしてしまいます。口の中、歯の健康と全身の健康はつながっています。健康であることを当たり前だと思わず、人生の最後まで自分がやりたいことをやりとげられるように、より質の高い人生を長くお送りいただけたらと思っております。

「初めて取引するお相手の顔が、左右非対称で、それぞれの印象が違うとき。全く躊躇なく、取引を開始できますか？」

8月8日は“歯並びの日”だったということで、これにちなんだお話を一つ。

私の友人で、「選挙で投票するときは、顔が左右対称の人に対することにしている」という人がいます。友人曰く、「左右で顔が違うということは、裏表のある人間だ」とのことです。

巷には入試や採用試験時の書類選考の写真で不採用にされないように、証明写真のお顔を左右対称にお直ししてくれるところもあるほどです。

左右対称のバランスの良いお顔立ちは、子供のように純粋なイメージを相手に抱かせるのかもしれません。また、いわゆる美人の指標としても、「輪郭や目鼻立ちが左右対称である」ということが、たびたび言われることです。

歯科医師である私が左右非対称のお顔立ちはの方にお会いした時に抱く印象は、「肩こりや耳鳴りがあるのだろうな」です。

実は、左右で顔の形が著しく違う場合は、片方で噛む癖があることが多いです。これは、下あごは、頭蓋骨に噛む筋肉によってぶら下がっているために、片方で噛む癖があれば、噛む方の筋肉ばかりが発達して、発達した筋肉に引っ張られてしまうからです。

利き腕の筋肉が太くなるということは、よく言われていることですが、片方でばかり噛むことがあると、噛む筋肉も同じ現象が起き

てしまうのです。噛み合わせの筋肉に関していえば、利き顎は、ないことが望ましいです。

片方でばかり噛むことにより、お顔の輪郭の左右対称性が失われるだけでなく、目の大きさや、左右のほうれい線の深さ、口角の位置まで変わってきます。

筋肉のアンバランスは、筋肉の発達、蓄積により若いころよりも、年齢が高くなるほどに顕著になる場合が多いです。

また、アンバランスが進むことにより、噛む側の首や肩の凝りや、頭痛、耳鳴りなどが起きる場合も多々見られます。

日々のつらい症状が出ることもあるお顔のアンバランスは、以下のことが原因で起きる場合が多いです。

- ①歯並びの不正によるもの
- ②詰め物や被せ物が合っていない場合
- ③神経の治療をしたところが再発している（保険診療における根の治療の再発率は、5～8割というデータがあります）
- ④頬杖をついたりする癖がある

いつまでも若々しく誠実な見た目を維持していただくためには、信頼のおける歯科医師を持つことが不可欠です。

以前に比べて、お顔のバランスが気になってきた方、お顔のバランスを左右対称の状態を維持されたい方は、お顔や噛み合わせ全体を見て治療を提案してくれる歯科医師におかかりになることをお勧めいたします。